

巻頭言

油 木 京 子

昭和58年に発足いたしました、当石川看護研究会は、実際の看護活動の場で科学的基盤に立っての看護が展開できるように、看護的視点に立った看護研究を意図してこつこつと歩んで参りました。すでに5回の研究会を重ね、今年は第6回の研究会が開催できますことを、会員の皆様とともに嬉しく思っております。この間、多くの方々の御尽力と御苦勞がございましたことを深く感謝致しております。

今日的な様々な課題を有する、それぞれの現場におかれましては、看護者自身が看護に関する問題を発見する力と解決の方向を求める手立てとをその手中に持つことは、専門家として、いきいきと活動される時に、なくてはならない大切なものと言えます。また、このような力を活用して得られました成果を看護力として蓄え、役立てて行くことができますれば、看護者による看護の充実をもって社会への貢献を担えるものと思います。

このような意味におきまして、身近なコミュニティの仲間同士が、看護者としての力を培い、その成果を共有できる場として、この研究会をご活用頂けることをご期待致しますとともに、この過程を含めまして、看護の実践に役立てられ、看護の学問的發展に寄与できますよう心より願うものであります。